



第五中学校だより

「自ら考え、判断し行動できる生徒の育成」

令和7年4月
新座市立第五中学校
新座市野寺 4-8-1



入学・進級おめでとうございます

校長 伊藤 進

校内には、緑化委員会や学校応援団、PTAの皆様が植えてくださった花がきれいに咲き誇っています。心地よい香りにつつまれた第五中学校に新入生225名を迎えて、全生徒数746名で令和7年度がスタートしました。

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。また、2・3年生の皆さん、進級おめでとうございます。私も3年目としてより良い第五中づくりを目指し学校経営に最善を尽くして参ります。引き続きよろしく願いいたします。今日、子供たちが学校で学ぶことは、社会と切り離されたものではなく、社会の変化を見据えて、これから生きていくために必要な資質・能力を育むことが求められています。

本校では、これらの資質・能力を育むためにICTを活用しています。昨年度は、多くの生徒が挑戦したパソコンスピード認定検定や生成AIを活用したプレゼンテーション動画作成などを行いました。また、授業については研修部が作成した計画に基づいて教職員が一丸となり、令和の日本型学校教育の実現に向け授業改善に取り組み、ある程度の成果を上げたと自負しています。一方、ICTの利活用を積極的に進めることで、ペンで文字を書く時間が減少し、読解力や文章力、作文力の育成に懸念があるという指摘がありました。そこで、これらの懸念を払拭するため、今年度の学校経営の重点に「読解力と文章力、作文力(書く力)の向上」を明記し、新たな取組としてNIESUT(ニースタイム)を設けました。ニースタイムとは国語科による新聞記事を活用し書く力を育成する取組です。また、全ての授業時間を45分間として授業のコマ数を増やし効

率的な授業を進めていきます。

令和7年度 学校経営の4つの重点

『一人一人の確かな成長を実現するため、ICT機器を積極的に活用するなど教育活動の効率化、質の向上を目指す。』

- 1 令和の日本型学校教育を実現
 - (1) 授業改善(子供の学び方改革)
「指導の個別化」と「学習の個別化」の推進
 - (2) 自律的に学ぶことのできる生徒の育成
自分の学習状況に応じて効果的に学習を進め自ら学び続けることができる生徒の育成
 - (3) 読解力と文章力、作文力(書く力)の向上
- 2 ICT機器の積極的な活用
 - (1) 情報活用能力の育成(基本操作、情報活用、プログラミング、情報モラル・セキュリティ)
 - (2) グローバル力、プレゼンテーション能力等の育成
- 3 豊かな心と健やかな体の育成
 - (1) 豊かな心の育成
 - (2) いじめ防止、不登校生徒の削減
不登校生徒等が参加できるオンライン授業
アスサポルーム(多様な学びの支援)の充実
 - (3) 体力の課題解決と健康教育の推進
- 4 保護者・地域との連携推進
 - (1) コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の充実
 - (2) 学校情報の発信(学校のHPの充実)

多様な他者と主体的に関わり社会を切り拓いていく力「自ら考え、判断し、行動できる生徒」を育むため教職員が一丸となって取り組みます。